

授業科目 教育課程論

【担当教員名】 足立 淳	対象学年	3	対象学科	健康・スポ・看護	
	開講時期	前期	必修選択	選択	
	単位数	2	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	○	○			
【概要・一般目標：G10】 この授業は、教育課程の概念、すなわち教育課程の歴史的背景や構成要件、経営の方法などについて、主として講義形式で解説するものである。また、講義の内容を踏まえて、班単位での協同学習を課すものである。 この授業の一般目標は、受講者が、将来教職に就いた際に、社会や時代からの学校教育に対する要請を自らの教養に照らして判断しながら、児童・生徒の福祉やQOLの向上を念頭に、教育課程を計画し、実施し、評価し、改善していくことのできる基礎的な教育的教養を修得させることにある。					
【学習目標・行動目標：SBO】 上記一般目標を達成するために、この授業では、以下の行動目標を設定する。 1 教育課程の概念に関する基本的事項について、講義の内容を踏まえた問題に答えたり、説明したりできること。 2 児童・生徒の福祉やQOLの向上という視点を大切にしながら、他の受講者と協同して適切な教育課程を構想できること。					
回数	授業計画・学習の主題		SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	教育課程論の概要		1	ガイダンス	
2	教育課程概念の内実		1	講義	
3	教育課程を貫く原理（1）－子どもの権利条約－		1	講義	
4	教育課程を貫く原理（2）－大日本帝国憲法－教育勅語－		1	講義	
5	教育課程を貫く原理（3）－日本国憲法－教育基本法－		1	講義	
6	戦後の学習指導要領の変遷（1）－1940-50年代－		1	講義	
7	戦後の学習指導要領の変遷（2）－1960-70年代－		1	講義	
8	戦後の学習指導要領の変遷（3）－1980年代以降－		1	講義	
9	最新の学習指導要領の背景と要点		1	講義	
10	教育課程の計画と要件		1・2	講義	
11	教育課程の評価と改善		1・2	講義・作業	
12	教育課程をめぐる現代的諸問題		1・2	講義・作業	
13	教育課程の構想（1）－優れた教育課程経営の事例に学ぶ－		1・2	講義	
14	教育課程の構想（2）－児童・生徒の福祉とQOLの向上のために－		1・2	協同学習	
15	困難な時代を生き抜くために		1・2	講義	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		『中学校学習指導要領 平成20年3月 告示』	文部科学省	東山書房	2008・244円・中学校教諭免許取得希望者のみ必須。
		『高等学校学習指導要領 平成21年3月 告示』	文部科学省	東山書房	2009・588円・高等学校教諭免許取得希望者のみ必須。
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 課題への取組 50%程度 期末試験成績 50%程度 ※ただし、出席率60%に満たない受講者は期末試験受験不可		【履修上の留意点】 履修にあたっては、高校卒業程度の近現代史に関する基礎的な知識が身につけていることが望ましい。			